

令和元年度 第13回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和元年11月5日（火）午前9時00分～
 - ・場 所 八尾市役所庁議室
 - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・各部局長・理事等
-

【市長あいさつ】

今般の記録的な大雨や台風などにより、大規模な災害が日本各地で発生しました。犠牲となられた皆様に深く哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。本市では、長野市へ職員派遣を行う等の支援を行い、先日、その報告を受けたところですが、できる限りの支援に努めるとともに、本市においても、市民の生命を第一に考え、迅速かつ円滑に対応できるよう、万全を期していきます。

次に、10月28日の本会議をもって、約2ヶ月にわたって開会された9月定例会が閉会しました。各部局においては、資料作成をはじめ答弁の準備など、大変苦勞をかけました。提出した議案については、全て可決いただきましたが、平成30年度決算については、一般会計歳入歳出決算において不認定となりました。このことについては、大変深く受け止めるとともに、地方自治法の規定に基づき、適正に対処します。

特に、本市市民課窓口業務を受託する事業者の元従業員による手数料の着服については、市政に対する市民の皆様の信頼を大きく損なうこととなりました。このような事態を招いたことは、市政の最高責任者として、その責任を痛感しています。市政への信頼回復と再発防止の決意を表すため、私の政治的判断により、給料等の減額を内容とする追加議案を提出しましたが、一日も早く市政への信頼を回復できるよう、また、二度とこのような事態を引き起こさないよう、組織一丸となって、今後の再発防止を徹底し、日々の取り組みを積み重ねていく必要があります。

また、今月15日には、召集告示の議会運営委員会が開催され、12月定例会が始まりますので、引き続き、準備に万全を期すようお願いいたします。

次に、令和3年度を初年度する第6次総合計画については、これまでの庁内ワーキング会議や経営戦略会議等を踏まえ、庁議にて基本構想・基本計画の行政素案を決定しました。今後は、11月中旬より来年1月中旬にかけて、総合計画審議会の各専門部会において議論していただくこととなりますが、施策担当課長も出席となります。審議会では委員から、様々な意見があると思いますが、これを真摯に受け止めるとともに、質問等に対しては、市の現在の取り組みや今後の方向性をしっかりと説明し、市民の皆さんと共通認識を深め、ともにまちをつくっていくという姿勢で臨むようお願いいたします。

また、行財政改革に関しては、本日、部長会終了後に行財政改革推進本部会議を開催しますが、「新やお改革プラン」のパブリックコメントが終了し、「新やお改革プラン」及び「同実行計画」ができましたので、その共有を図ります。これからは、実行計画を着実に進めていく必要があります。今さら言うまでもありませんが、計画は作ったら終わりではなく、着実に実行していくものです。実行にあたっては、様々な苦勞があることは想像に難くな

いですが、組織力を発揮して、相手のある取り組みにおいては、市民や関係団体の皆さんにご理解をいただき、前に向かって進んでもらいたいと考えています。

次に、文化の日表彰式典についてですが、今年の文化賞は、本市在住の大槻洋子氏に、文化新人賞は、本市を拠点に活動している佐藤瞳・橋本帆乃香ペアと、本市在住の堤下侑己菜氏にお贈りさせていただきました。

文化賞の大槻洋子氏は、大学で西洋画を学ばれた後、画家として、八尾の自然や歴史、四季の移り変わりなどを描き、多数の作品の創作に取り組んでおられるとともに、長年にわたり、高安コミュニティセンターで絵画講師を務められ、豊かな経験と卓越した指導力により絵画の魅力を伝えておられます。また、絵画を通して市民交流、地域活性化に力を注いでおられ、高安悠画会を主宰し、絵画の高い芸術性を求めるとともに、八尾の高安里山の歴史文化とその自然の深みと生活を題材に、多くの作品を発表し、市内各所で展覧会を開催されています。絵画の創作を通じて、芸術や郷土の歴史文化、自然を街おこしや情報発信につなげるなど地域文化の向上や地域コミュニティの推進にも寄与しておられ、永きにわたる活躍は、八尾の自然や歴史のすばらしさを多くの人に広め、また文化芸術の裾野を広げるなど、本市市民にとって大いに誇ることができるものであり、本市の文化振興に果たしてきた功績は誠に顕著であります。

文化新人賞の佐藤瞳・橋本帆乃香ペアは、佐藤氏が小学2年生から、橋本氏が5歳から卓球を始められ、ともに本市のミキハウスに所属し、市内を拠点に活動されています。フォアカットを得意とする佐藤氏と、バックカットを得意とする橋本氏の好相性で、国内では珍しいカットマン同志のダブルスとしてペアを組んでおられます。本年4月に、ハンガリー・ブダペストで開催された世界卓球選手権大会においては、銅メダルに輝かれ、来年の東京オリンピックをはじめ、これからの日本の卓球界を牽引する有望な選手として、大きく飛躍することが期待されています。

同じく、文化新人賞の堤下侑己菜氏は、水泳選手として多くの大会に出場し、障がい者スポーツの分野において精力的に活動されています。平成31年3月に、アラブ首長国連邦の首都アブダビで開催された、4年に一度開催される知的障がい者のためのスポーツ大会である「スペシャルオリンピックス夏季世界大会」においては、競泳の日本選手団8名のうちの一人に選出され、世界170の国・地域から約7,000人の選手が参加するこの大会で、100m個人メドレーで金メダル、100m自由形で銀メダル、4×50m自由形リレーで銅メダルを受賞するなど、輝かしい成績を残されました。この実績により、本年8月には、大阪府知事から「感動大阪大賞」が贈られ、その活躍は、本市に留まらず、障がい者スポーツの分野において顕著であり、今後、大きく飛躍されることが期待されています。

また、当日は、以上の2名・1組とあわせて、市長表彰の一般表彰として89名・9団体に、教育委員会表彰として、26名・4団体に、それぞれの功績に対して表彰をさせていただくとともに、1団体に感謝状をお送りしました。

なお、文化賞に関連して、平成30年度「未来投資戦略2018」において、国の重点施策として位置付けられている、総務省が主催する戦略的情報通信研究開発推進事業「異能(Innovation)イノベーション」において、本市が自治体として唯一、運営協力機関に選定されました。この事業は、地方圏の最大の課題である「人口減少・高齢化」による地域づくりの担い手不足の解消につなげるため、若者を中心に、変化を生み出す人材を地域

に流入させ、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が、地域づくりの担い手となるようなスクールを実施することで、地域の異能者を生み育てるというものです。

平成 25 年に文化賞を受賞された本市の魅力大使である三池崇史監督は、本事業を通じて本市に対する協力の積極的な姿勢を示して下さり、当日の授賞式にも、お越しいただきました。

また、去る 10 月 23 日には、即位礼正殿の儀に参列された外国の元首等に対して、内閣総理大臣夫婦主催の晩餐会が開催され、日本の伝統文化が披露されました。その中で、平成 26 年に文化賞を受賞された吉田玉男（受賞当時は吉田玉女）さんが、狂言の野村萬斎さん、歌舞伎の市川海老蔵さんとともに、五穀豊穰を祈り舞う三番叟を共演されました。吉田玉男さんとは、先月上旬に、出演のお祝いとして、お会いする機会があり、元禄文化の伝統を精力的に発信されており、八尾においても、市民の皆様にも文楽に親しみ、興味を持っていただく機会を作っていきたいと言葉を頂きました。

最後に、11 月となり、今年も残すところ、あと 2 ヶ月となりました。これからは、年末に向けてだけではなく、次年度あるいはその先を見据えて、忙しくなるとは思いますが、全力で業務に取り組んでいきたいと考えており、職員の協力をお願いします。

案件

1 「ビジネスチャンス発掘フェア 2019 の開催について」	経済環境部長
ビジネスチャンス発掘フェアは、「ものづくりのまち八尾」の企業技術と製品を対外的に PRするとともに、販路開拓・企業間交流などビジネスチャンスの獲得促進を目的として、平成 23 年度から広域連携による販路拡大をめざし、本市、八尾商工会議所、大阪シティ信用金庫で組織する八尾市産業博開催実行委員会を核として開催している。	
今年度も、「ビジネスチャンス発掘フェア 2019」と銘を打ち、北河内、南河内などのものづくり企業も参画する合同展示商談会を開催する。	
商談会には、全体で 190 社が出展し、このうち、八尾市関連として、86 社が出展するので、市内ものづくり企業の製品技術を、ぜひ見に来てもらいたい。	
開催は、11 月 27 日、28 日の 2 日間、大阪府中央区のマイドーム大阪にて開催する。	
入場は無料となっており、初日の 27 日には、午前 9 時 30 分から同会場 3 階の展示場前ロビーにて、オープニングセレモニーを開催する。議会開会中ではあるが、時間の許す範囲での来場をお願いします。	
また、期間中は「ビジネスセミナー」も同時に開催され、27 日はトレンド評論家の牛窪 恵氏を、28 日は弁護士でタレントのケント・ギルバート氏が講師となるセミナー（事前の申し込み必要）も予定されている。	
「ビジネスチャンス発掘フェア 2019」開催の周知に合わせて、各部局での情報提供をお願いします。	

<発言は特になし>